

事務事業名 生涯学習フェスティバル事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：649

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-11-00
基本事業：	02	家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域活動・学習活動に参加している市民の割合 ボランティアバンクの活動者数（延べ人員） ボランティアバンクの活動者数（実人員）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、地域活動・学習活動団体		様々な団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行っている。人権、男女共同参画、環境、子育て、障害者に関する行政からの啓発活動もあわせて行っている。 生涯学習フェスティバルは、「パープルプラザフェスタ」「カミーリヤフェスティバル」「スポレクフェスタ」「ハーモニーフェスタ（文化会館）」の総称である。 パープルプラザフェスタ 開催日：10月第4月曜日前の土・日の2日間 周知方法：ポスター・チラシ（隣組回覧）・市広報・市HPなど フェスティバルの内容：実行委員会において毎年度企画している。その中で、広報・案内部会を設置し、市からの情報発信に加え、参画団体からの積極的なPRを行っている。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
学習グループが、日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
来場者数（パープルプラザ）	人	11,000	12,000	10,000	10,000			10,000
参加団体数（パープルプラザ）	団体	105	105	130	130			130

5. コスト									
事業費	計	千円	1,927	1,846	2,066	2,069			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	1,927	1,846	2,066	2,069				
正職員人工数	人工	0.5	0.5	0.5					
正職員人件費	千円	3,998	4,045	4,033					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	5,925	5,891	6,099	2,069				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	広報ちくしの、公式HP等を含め、効果的なPR方法を検討し、来場者数の増加を目指します。来場者については、天候による影響を受けやすいものの、概ね例年目標数を超えています。また、参加団体数については、既存団体の高齢化等により、フェスティバルへの参加が難しくなってきた団体が見受けられます。新規団体への呼びかけ、参加団体範囲の見直し等を検討していきます。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	市民協働のフェスティバルにしていくためには、実行委員会の中で、より具体的な協議を行い、効率的な運営や魅力あるフェスティバルにしていくための企画案を検討していく必要があると考えます。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄							
----------------------------	--	------------------	--	--	--	--	--	--	--

生涯学習センター開館の平成13年度から生涯学習フェスティバルを開催し、平成14年度から文化会館、カミーリヤ、農トレと同時開催することにした。		市民団体との協議を充分に行いながら、市民協働のフェスティバルに変えていくために、平成23年度からそれぞれのフェスタで実行委員会を結成し、細かな対応ができるようにした。							
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--